

一人暮らし高齢者の生と死

マンション問題総合研究所 理事長 喜田 大三

ホットケナイ

◎はじめに
35年前、郊外の武蔵野台地に百戸の7階建て分譲マンションが建てられ、6階に入居しました。東に真つ赤な日の出、西南のはるか遠方に富士山が見えます。

このマンションでは、一人暮らしの高齢者が、三名亡くなられました。心から、ご冥福をお祈り申し上げます

15年前、入居15年の70なかばの男性Aさんが、昨年春には、入居34年の80過ぎの女性Bさんが、ご自宅で亡くなり発見されました。

昨年晩秋には、入居30年のCさんを、救急車で病院へ連れてゆきました。翌朝亡くなりました。86才でした。

一人暮らしの高齢者の死にショックをうけ、ホットケナイ気分一杯です。当然、入居当初に比べ、一人暮らしの単身高齢者は増え、今後さらに増えるでしょう。高齢者が孤立しないで安心して暮らせる環境づくりの調査研究に着手しました。

亡き三名の生前も回想して、問題解決の第一歩にさせていただきます。

なお、マンションは25年前に管理組合を設立し、自主管理をしています。

◎元社マンAさん(男)

商社を退職されたAさんが、30年前に単身で入居されました。偶然、日本の復興について話し合いました。

戦後、日本は世界一の貧乏国になりました。そこで、世界の資源を輸入・加工して製品を輸出し、経済的に復興しました。Aさんは、商社マンとして活躍されたそうです。

その後、Aさんに、長男かと聞かれ、次男と答え、長男は戦艦大和で戦死したと言いました。急に、Aさんは無愛想になりました。

Aさんは、太平洋戦争で戦場へ出征している。そんな男

性の多くは、戦時下の過去を語りたがらない。そりゃそうでしょう、勝つてこいと戦場へ送られたが、負けて帰ってきた。Aさんも責任感の強い方と思いました。

マンションでも、総会に出席されないし、組合員との交際も特定の方に限られていました。おそらく、自己の過去を多くの方に知られたいなかつたのでしょうか。

その反動でしょうか、寂しさを解消するために、カメラをもって車で奥多摩地方へ出かけ、自然を写して楽しんでいました。引きのばした写真の一部を隣の方にあげたりしていました。

15年前の夏場、上階に住んでいる消防士が、腐敗臭からAさんの遺体をベランダで発見。遺体は解剖され病死と断定されました。

Aさんの可哀な孤立死から、「Aさんは、体調を崩し暑くて寝られない。ベランダに出て亡き戦友などを思い出しているうちに、たおれられた。」と想像しました。

身内は都内に住んでおられ

るお姉さんだけでした。姉さんは、弟の住宅を相続されました。そこで、見違えるほど綺麗にリフォームされ、売却されました。

Aさんは、商社マンですから、戦争さえなければ、居住者とコミュニケーションをされ、孤立死なんて無かつたのではないかと悔やまれます。

◎元宝石店員Bさん(女)

34年前、Bさんは入居され、何年かのち、未亡人になられました。一人暮らしで宝石店に勤めておられ、お子さんは無いようでした。

Bさんは、組合員になっても、総会に一度も出席されない。理事の順番がきても候補になることを断られました。また、居住者との交際もほとんどないようでした。

その代わり、70才過ぎまで宝石店に勤務。10年前に勤めをやめ、数年前から病院へ通っていました。老人性の関節炎のため、ゆっくり歩き、買い物にはショッピングカートを利用していました。

(4頁へつづく)



建装工業株式会社

マンションリニューアル事業部
〒105-0003 東京都港区西新橋 3-11-1
TEL03-3433-0503 FAX03-3433-0535
WWW. KENSO. CO. JP

- 大規模修繕工事
- 給排水設備工事
- 各種防水工事
- 防音工事
- 内装工事
- 建物・設備診断



JQA-QM6964



JQA-EM6433

「マンションリニューアル事業部」

東北支店 千葉支店 横浜支店 中部支店 関西支店 札幌営業所 福岡営業所

同じ階の婦人が見るに見かねて市のケアーマネジャーに相談するようにアドバイス。婦人は、関西にすむ一人暮らしの母親(故人)の面倒をみてきた経験があります。

昨年亡くなる2ヶ月前から、週2回ホームヘルパーが掃除や買い物にきていました。また、週1回の配食サービスも受けていました。

昨年の春、ヘルパーが訪ねてきて、Bさんがベッドの側で亡くなっているのを発見。管理人は警察その他に連絡し、警察に遺体を運び、医者やケアーマネジャーから聴取して病死と断定。

妹さんが入院中ですから、そのご主人が死後の面倒をみておられます。

Bさんは、長年の勤務で、どちらかといえば孤立した生活でした。しかし、アドバイスをうけ、ヘルパーさんが週2回、介護に訪問していたので、遺体を早く見つけることができました。

高齢者介護について、経験者が話をする、管理組合が広報することを望みます。

◎管理組合元役員Cさん(女)

30年前に、都内から実際好きの婦人Cさんが6階に引越してこられました。戦争のため、結婚したい男性が戦死してしまつたので、未婚。

若いときは父親の製本会社の事務一切を、その後は書籍販売会社の会計を担当していたそうです。退職しても、好きな株を楽しんでおられたようです。また、Cさんは長女で、三人の弟妹達がたまに訪ねていました。

Cさんは、都内のマンションで役員を経験。25年前、当マンションが自主管理の管理組合を設立した際、設立委員そして理事に選ばれました。

その後、次々とマンションの居住者と友達になっていきました。マンション管理についても電話や立ち話で組合員と話し合っていました。

マンションの総会では、得意の会計について質問をするだけでなく、監事の2年間を2回も担当。特に、修繕積立金の取扱を厳しく監視。

Cさんは、食料品などの購入で、居住者と交流していま

した。生協の週一回の注文配達を利用。また、歩いて10数分のスーパーヘショップینگカートで買い物。

何時も元氣そうでしたが、数年前から循環器の病気で医者へ通っていました。

昨年11月の臨時総会で、よく思案した質問をしていましたが、急に様子が変になりました。救急車を呼んで入院。

翌朝、亡くなられ、遺体を拝見したとき、持病の病氣だけでなく、総会の質問準備に疲れたように思いました。享年86才でした。

葬儀は密葬で行われたので、マンションの自宅で弟達がお別れ会を催されました。

Cさんは、マンションの管理に理事・監事として活動されたので、みんなが感謝の気持ちで拝礼しました。

あの戦争がなければ、Cさんは結婚して子や孫もいたでしょう。80過ぎて死後に備えて家財を整理し、またリフォームされたそうです。それを聞いて涙ができました。

Cさん、ありがとう、安らかにお休み下さい。

◎まとめ

一人暮らし高齢者の死にショックをうけ、高齢者に関して調査研究を始めました。

高齢者の死だけでなく、マンション居住者との交流にも注目。生前と死とが密接に関係していることが判明。そこで、タイトルを一人暮らし高齢者の「死」ではなく「生と死」に致しました。

さて、A・Bさんは、居住者との交流は少なく、孤立状態の自宅で死亡していました。Aさんは、腐敗臭で発見。Bさんは、介護制度のヘルパーさんによって早く発見されました。

一方、Cさんは管理組合その他で活動し、居住者と交流し、孤立していませんでした。居住者が救急車を呼び、入院後に死去しました。

高齢化社会では、単身高齢者が孤立しないで安心して暮らせる環境づくりが必要です。個人情報保護に配慮し、高齢者の『マンション生活』『孤立死対策』などの情報を集めております。

ご支援をお願いします。

タイル壁に「安心」を塗ろう。

<http://www.dyflex.co.jp>

剥落防止

色調保持型タイル剥落防止工法

防水 透明

エバーガード

窓ガラスに「快適」を塗ろう。

防虫

窓ガラス用紫外線・赤外線反射吸収コーティング材

省エネ 透明

UI-シールド

株式会社ダイフレックス
さいたま営業所

TEL:048-646-4870
FAX:048-646-4871
e-mail:saitama@dyflex.co.jp